平成30年度 放課後等デイサービス事業 事業所における自己評価結果(公表)

評価日; 平成30年10月 4日

公表; 平成30年11月 6日 事業所名 くらむぼん

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏ま えた改善内容又は改善目標 |
|---------|-----|--|-------------|-----|---------------------------------|------------------------------|
| 環境·体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペース との関係で適切であるか。 | / | | 公共施設、社会資源 の活用も積極的に行っ ている。 | 7676411117104111 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか。 | ~ | | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされてい るか。 | | • | | シャワー設備の設置を予算 化する。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | > | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等 によりアンケート調査を実施して保 護者等の意向等を把握し、業務改 善につなげているか。 | > | | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。 | v | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ~ | | 法人全体で共通する今後の 課題。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。 | / | | 事業所内、部門内 でも行っている。 | |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと 保護者のニーズや課題を客観的に 分析した上で、放課後等デイサービ ス計画を作成しているか。 | > | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメント ツールを使用しているか。 | V | | | |
| 適切 | 11) | 活動プログラムの立案をチームで 行っているか。 | V | | | |
| な支援 | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう 工夫しているか。 | > | | | |
| 接の提供 | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。 | / | | | |
| | 14) | 子どもの状況に応じて、個別活動と 集団活動を適宜組み合わせて放課 後等デイサービス計画を作成して いるか。 | / | | | |
| | 15) | 支援開始前には職員間で必ず打合 せをし、その日行われる支援の内 容や役割分担について確認してい るか。 | > | | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打 合せをし、その日行われた支援の 振り返りを行い、気づいた点等を共 有しているか。 | V | | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏ま えた改善内容又は改善目標 |
|--------------|-----|---|----------|-----|---------|---|
| 適切な支援の提供 | 17) | 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証、改善 につなげているか。 | • | | | |
| | 18) | 定期的にモニタリングを行い、放課 後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断しているか。 | • | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。 | • | | | |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス 担当者会議にその子どもの状況に 精通した最もふさわしいものが参画 しているか。 | | ~ | | 複数種のサービス利用をしている人そのものがほとんどいない。 |
| | 21) | 学校との情報共有(年間計画・行事 予定等の交換、子どもの下校時刻 の確認等)、連絡調整(送迎時の対 応、トラブル発生時の連絡)を適切 に行っているか。 | V | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受入 れる場合は、子どもの主治医等と 連絡体制を整えているか。 | | ~ | | 該当する利用者がこれまで もいない。 |
| 関係機関 | 23) | 就学前に利用していた保育所や幼 稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互 理解に努めているか。 | • | | | |
| や保護者 | 24) | 字校を卒業し、放課後等テイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | | • | | 該当する利用者がこれまで もいない。 |
| の 連 | 25) | 児童発達支援センターや発達障害 者支援センター等の専門機関と連 携し、助言や研修を受けているか。 | | ~ | | |
| 携 | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交 流や、障害のない子どもと活動する 機会があるか。 | | • | | 活動時間などから交流を持 つ機会そのものが難しい。 |
| | 27) | (地域自立支援)協議会等へ積極 的に参加しているか。 | ~ | | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | • | | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレン・トレーニング等)の支援を行っているか。 | • | | | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規定、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか。 | v | | | |
| | 31) | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | • | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保 護者会等を開催する等により、保護 者同士の連携を支援しているか。 | • | | | 保護者会を定例で年2回開催しているが、参加をしていただきやすい日程を考慮していく。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏ま えた改善内容又は改善目標 |
|------------|-----|--|-------------|-----|--------------------------------------|------------------------------|
| 保護者への説明責任等 | 33) | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか、 定期的に芸報寺を発行し、活動概 | V | | | |
| | 34) | 定期的に会報寺を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信して | / | | 毎月法人全体、事業 所の通信を発行し近隣 にも配布している。 | |
| | 35) | 個人情報に十分注意しているか。 | > | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意 思の疎通や情報伝達のために配慮 をしているか。 | > | | | |
| | 37) | 事業所の行事に地域住民を招待す る等地域に開かれた事業運営を 行っているか。 | | • | 事業所ではないが、 法人全体では開催。 | |
| 非常時等の対応 | 38 | 窓忌 | > | | | |
| | | 非常災害の発生に備え、定期的に 避難、救出その他必要な訓練を 行っているか。 | > | | 毎年度2回は計画的に開催している。 | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修 機会を確保する等、適切な対応をし ているか。 | > | | 事業所内、法人内で 開催。 | |
| | 41) | とのような場合にやむを得す身体 拘束を行うかについて、組織的に決 定し、子どもや保護者に事前に十 分に説明し了解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載して いるか。 | > | | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応 がされているか。 | / | | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業 所内で共有しているか。 | ~ | | 法人全体でも共有 | |

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。